

事業所名 児童デイサービスコンチェルト  
児童デイサービスコンチェルト第2

公表:令和 4年 4月 10日

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13			部屋を活動に合わせて使っている	
	② 職員の配置数は適切であるか	12	1		マンツーマンを基準とした職員配置をしている	法律上の基準をきちんと伝える
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	2		部屋やスケジュール全体を構造化して解り易く配慮している。	建物入口の階段は手すりはあるが段差の高さは大きいので要見守り
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13			遊具や絵本棚などの配置を、子どもの動きや活動にあわせて配置している	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	13			支援計画を中心にPDCAサイクルに従って行動している。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	13				参考にしていきたい
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	13				HPで毎年公表しているが、今年も職員たちも一緒に話し合っていきたい
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12	1		第3者評価の仕組みはないが、地域や実習関係の大学などでの評価をいただいている	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	2		例年、外部研修や内部研修を行っている	今年度は例年より研修機会が少なかった。
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	13			心理担当職員を中心に、発達検査を行い、家族の要望も聞き取って支援計画に繋げている	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13			発達検査を2種類行って利用すると共に、病院等からの検査資料も活用している	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13			家族の希望や家での様子を聞き取った上で、子どもの発達状況を検査して作成しているが、園や他の施設での様子も参考にして作成している。家族支援も大事に考えている	

⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13			通所の日には支援計画を見て、個別や集団の課題を確認することから始めている	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	2		職員会議やリーダー会議で立案	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13			週ごとに、集団のプログラムを変更している。長期休みの特別プログラムはスタッフ会議で全員で意見を出し合い考えている	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	13			適切に作成している	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	1		朝と午後に毎日、全員でミーティングをして確認している	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	3		振り返りは定期的にミーティングや会議で行う 気付いた点などはリーダー(担任)を中心に聞き取っている	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13			担当者は、担当児の児童記録を客観的に書くが、職員も日誌に内容を記録している	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	13			担当者は定期的に担当児のモニタリングを行っており、支援計画に反映させている	
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13			グループの担任や、施設長などととも、子どもの担当者も一緒に参加している	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	13			関係機関との連携を大事に捉えており、連絡を取り合っている	
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—			医療的ケア児等は現在いないが、必要な場合は関係機関と連携していた	
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—			医療的ケア児等は現在いないが、必要な場合は関係機関と連携していた	
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11			コロナ禍のために園等へ行って現場を見て会議等が難しく、記録や書類での情報共有が多い	
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12			コロナ禍のために会議等が難しいが、必要な場合は支援会議を開催	
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12			コロナ禍のために会議等が難しいが、必要な場合は支援会議を開催	
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	1		外遊びやイベント参加などで交流。今年は機会が少ない	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	12	1		子ども部会にも参加しているが、今年度はコロナ禍のため集まるのが難しかった	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13			毎日の連絡帳のほか、その日の様子を迎えにきた親に伝えたり、親からの相談も聞いている	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	12	1		懇談や父母研修ができずにいるが個別で伝えている	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13			契約時に説明をしている	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	13			説明すると共に同意のサインをいただいている。支援の結果も対面で伝え、文書も渡している	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12			相談の希望があった場合は時間を取って話を聞き、助言等を行っている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10			懇談や父母研修ができずにいるが個別にDVDで伝えた	
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13			相談などは迅速に対応し、時間を取って話を聞いているが、子どもの状況によっては事業所の電話のほかに、緊急電話も用意して緊急の場合にも対応している	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12			「コンテエルト」を紙ベースで発行して渡しているが、HPにも載せている。お知らせや行事に関してなどは、手紙等を渡している	定期的に会報発行し、HPにも載せているので要宣伝
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	13			充分注意し、職員や実習生たちにも徹底している	
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13			連絡帳を用意している。親が送迎しているため、毎回、意思の疎通ができるとともに、親の気持ちや予定等も聞きとれる	
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10			地域との連携や会議等行っているが、催しなどは難しい	
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12			子どもたちの玄関や、職員の部屋の壁に貼ってある。子どもたちにはSSTの練習などを通して危機管理の大事さを伝えている
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12			職員も児童も訓練している	
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	10	2		現在、必要な児童はいないことを確認済	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	12	1		通所前に親から聞き取って、おやつ等への配慮をしている	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	3			作成しているが職員への周知の課題を確認
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11				毎年、権利擁護研修を行っているが、次年度も計画
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	11	2			これまでも、現在も、必要な児童はいない

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。